

平成28年度 村上・岩船特別活動部 活動報告

部長 小野 澄江

1 研究主題 「人間関係づくりを大切にした特別活動の在り方」

2 研究の概要

今年度は昨年度に引き続き「人間関係づくり」に焦点をおき、8月に授業者作成の指導案検討会、11月に授業研究を行った。今年度は授業参観を通して、低学年での人間関係作りをどのように行うか、低学年から中・高学年へと見通した特別活動の在り方についての研修を深めた。

3 研究の実際

(1) 授業の概要

- 期日：平成28年11月29日（火）
- 授業者：村上市立金屋小学校 教諭 堀 麻美
- 指導者：村上市立保内小学校 教諭 板垣 嘉彦様
- 活動名「がんばった かい パーティーをしよう パート2」2年2組
議題「学級でどの遊びをするか考えて決めよう」



(2) 授業の実際

「遊びのもっている長所や短所に気づき、どの遊びを選べばよいか考えることができる」を本時のねらいとし、「王様ドッジボール」「けいどろ」「新聞リレー」の3つからみんなで楽しめる遊びについて話し合いで決めるという展開。話し合いの前に、あらかじめ記入していたワークシート（遊びたい遊びに○を、遊びたくない遊びに×をし、その理由が書かれている）を持ち、フリートークをして友だちに自分の考えを伝えた。ワークシートを読んで伝えているだけの児童が多かったが、中には友だちの意見を聞いて自身の考えを改める子がいた。その後の話し合いでは、それぞれの良い点や悪い点について意見交流がなされ、全員の児童が発言することができた。司会団のスムーズな進行とフリートークが良いウォーミングアップとなった。

(3) 協議会（○…良かった点 △…改善点 □…指導者よりご指導）

フリートークについて

- 全体での話し合い前にウォーミングアップやリラックスするという点では良かった。
- △ワークシートを見ながら考えを伝えているだけの子が多かった。何のために交流するのかという視点を子どもたちに伝えてから活動へ移る必要があった。
- 教師はフリートーク中に様子を見取り、話しから出たことを拾い上げて全体に返すことが大事である。

話し合いの場面について

- 司会団の進行がスムーズであった。そのため、クラスの全員が発言をすることができた。
- 「多数決じゃないでしょ」という児童の発言から、話し合いで決めようとしている態度が伺えた。
- △ワークシートに書かれていたこと伝えるだけの話し合いで平行線になった。遊びの不安なところを解決しようというめあてにし、問題点を全体で共有して進めてもよかった。
- 話し合いで平行線になったときは、提案理由に立ち返る、問題点を担当が整理していくことである。そして、どうしたら解決するのか考えさせること。

4 成果と課題

人間関係づくりのための学級活動の在り方の原点は、学級目標であることを指導者から学んだ。子どもたちにも学級目標を常に意識して話し合いや問題解決をしていくようにしていきたい。今後も、人間関係づくりを研究テーマにし、研修を深めていく。